

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

小児がん患者在宅移行の円滑化促進と
在宅療養における課題とニーズ把握のための研究

研究分担：社会資源の情報共有に関する検討
分担研究報告書

研究分担者 荒川 歩
国立がん研究センター 中央病院小児腫瘍科 医長

研究要旨

在宅移行を検討する際、地域で利用可能な社会資源を探しアクセスすることが最初のステップとなる。本検討チームにおいては、在宅移行を積極的に実施している病院の在宅クリニック選定における Tips や終末期診療のノウハウをまとめたパンフレットを作成し、患者の在宅移行を目指した時の一助にすることを目標とした。令和 2 年度に 11 施設の MSW や看護師を対象とした Web ミーティングを実施、令和 3 年 7 月の大隅班班会議内での議論を通じて、在宅医療の導入を検討している患者さんの家族に対し、在宅医療でどのような医療資源が利用できるのかを説明するためのパンフレットを作成することを決定した。その後より当初の計画を変更して、令和 4 年 4 月に患者家族および高校生以上の患者に提供できるパンフレットを完成した。小学生以下の患者を対象とした小児用のパンフレットの作成について、加藤を中心に作成を行い、パイロット案を元にミーティングを重ねて修正を繰り返した上で、令和 5 年 2 月に小児用パンフレットを完成した。

令和 5 年度は、班員の所属する施設や小児がん拠点にパンフレットの送付を行い、パンフレットを使用して在宅移行の説明が増える事を目指した。令和 5 年 9 月に第 65 回小児血液・がん学会総会で、加藤が子ども向けパンフレットの内容を紹介する内容の学会発表を実施した。令和 5 年 12 月 9 日に、「在宅医療を受けるがんの子どもと家族に対する支援 ~退院支援のこれからを考える~」というタイトルの小児がん患者の在宅移行を担当する各施設の MSW や在宅支援ナースを主な対象として、パンフレット内容を紹介し、普及を進めるとともに、在宅移行についての各施設の取り組みを共有した。

A. 研究目的

本研究では、小児がん患者に対する在宅医療を提供するにあたり、在宅移行を積極的に実施している病院の在宅クリニック選定における Tips や終末期診療のノウハウを交換できるような情報をまとめたハンドアウトやリーフレットを作成し、小児がんの治療に関わる主治医が患者の在宅移行を目指した時の一助にすることを目標とする。

B. 研究方法

5年目の令和5年度は、研究分担者のMSW（鈴木・大濱・清水・池田）を中心に、班員の所属する施設や、小児がん拠点病院にパンフレットの送付を行い、パンフレットの紹介や在宅移行を担当する各施設のMSWや在宅支援ナースを対象として、パンフレットの紹介および各施設の在宅移行の取り組みを共有するワークショップを企画する。

また、子ども療養支援士の加藤を中心に小学生以下の低年齢の患者を対象とした、小児向けの在宅移行を紹介するパンフレットの実際の活用方法について小児血液・がん学会で学会発表を実施する。

（倫理面への配慮）

本研究は医療機関間の情報共有および患者に説明するためのパンフレットの作成について検討する研究であり、個人情報を取り扱うことは少なく、倫理面の問題は少ない。ただし、例外的に

非公開情報を取扱う場合には、守秘義務及び個人情報保護を厳守する。

C. 研究結果

令和5年9月に第65回小児血液・がん学会総会で、加藤が子ども向けパンフレットの内容を紹介する内容の学会発表を実施した。令和5年12月9日に、「在宅医療を受けるがんの子どもと家族に対する支援～退院支援のこれからを考える～」というタイトルの小児がん患者の在宅移行を担当する各施設のMSWや在宅支援ナースを主な対象として、パンフレット内容を紹介し、普及を進めるとともに、在宅移行についての各施設の取り組みを共有した。

D. 考察

本分担研究は、実際の在宅調整を受け持ち、在宅移行に中心的な役割を担うMSWを中心として議論を進め、より効果的に現場のMSWや看護師間の情報共有が可能となることを目指した。本年度は実際作成したパンフレットを各施設で使ってもらえるようにしていく事を目標とし、ワークショップ及び学会発表を行うことが出来た。目標を一定達成できたと考えている

E. 結論

パンフレットを各施設で使用しやすいように、情報や実際の取り組みを共有する事は非常に重要であり、今年度も一定の成果を上げた。来年度以降も継

続して実施していく。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

加藤：終末期在宅移行する幼児期・学童期の小児がん患者へのリーフレットを活用した支援. 第65回日本小児血液・がん学会学術集会、2023年10月1日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし